

事業所における自己評価結果

公表：令和6年3月29日

事業所名 江戸川区発達相談・支援センター

回答数 13名

保育所交流や行事への地域住民の招待について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見合わせておりますので、評価項目から除いています。

評価項目		はい	いいえ	
環境・体制整備	1	<p><設問>利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか</p> <p><工夫している点></p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	92%	8%
	2	<p><設問>職員の配置数は適切であるか</p> <p><工夫している点></p> <p>効率的に職員が配置されるよう、職員の動き方、仕事の割り振りなどを話し合っている。子どもの特性に応じて、手厚くする必要のある子供には必要な人員が付き添うようにしている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>曜日によっては足りない時もあるみたいなので、全体的にみてうまく配置してもらえたと思う 休みの人のフォローができない場面が多々ある。</p>	58%	42%
	3	<p><設問>生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか</p> <p><工夫している点></p> <p>概ね配慮はされている。特定の子どもがさらにわかりやすい構造化については今後改善を行っていきます。 廊下にあるおもちゃを布で隠す、活動のスケジュールを視覚的に提示します。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	92%	8%
	4	<p><設問>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか</p> <p><工夫している点></p> <p>毎日の清掃と物の整理を行っている。また衛生委員会が清潔で安全な環境づくりの活動をしている。 各部屋のマットが汚損していたが、年末を機に清潔なものに取り換えられた。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>子どもが通う施設として、衛生面には引き続き気を付けていきます。</p>	92%	8%

評価項目		はい	いいえ
業務改善	<p>5</p> <p><設問>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>支援に関しては毎日振り返りを行い、業務全般については業務ごとに委員会を設置し活動を行い、月一回の全体での報告と話し合いがもたれている。SVなども定期的にはいるように仕組み作りが行われている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>業務が多く、振り返り時間の確保が出来ていないことがある。</p>	58%	42%
	<p>6</p> <p><設問>保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p> <p><工夫している点></p> <p>保護者向けアンケートを行い、その結果を職員全員で共有している。そこで上がった指摘については、具体的改善点を上げて取り組んでいる。保護者等向け評価表で頂いた意見を基に、毎年業務改善をおこなっています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	82%	18%
	<p>7</p> <p><設問>事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p> <p><工夫している点></p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	90%	10%
	<p>8</p> <p><設問>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>センターのホームページに掲載し、利用者以外の方にも閲覧していただいている。第三者による評価を受け、指摘をいただいたことを共有し、具体的改善策をたてて取り組んだ。月に一度の研修がとても良い機会になっている</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	60%	40%
	<p>9</p> <p><設問>職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>毎月定期的に、内部の職員勉強会を行っている。また、外部講師を招いた勉強会も並行して行っている。その他、研修開催予定の情報を共有している。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>外部研修を受講する機会や時間があると良い。</p>	100%	0%

評価項目		はい	いいえ	
適切な支援の提供	10	<p><設問>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p> <p><工夫している点> 定期的に発達検査、行動適応尺度検査等を行っている。また、毎セラピーごとに課題設定を見直している。 子どもと保護者のニーズ、各種アセスメントツールからの結果、行動観察の様子を分析し、本児に最善の計画作成ができるように努力しています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	11	<p><設問>子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p> <p><工夫している点> 半年に1回、バイランド行動適応尺度をとって、指導目標の設定を行っている。標準化された適応行動の質問紙を全利用者に実施し、アセスメントに役立てています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	12	<p><設問>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p> <p><工夫している点> モニタリングを行い、家族支援、地域支援を踏まえてニーズを抽出し、支援目標をたて、具体的支援課題を設定して取り組んでいる。 保護者支援、発達支援の内容を盛り込んだ計画案を作成しております。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	92%	8%
	13	<p><設問>児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p> <p><工夫している点> 保護者からの聞き取りのモニタリングと、直接の療育場面で明らかにされたニーズをもとに児童発達支援計画が立てられている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	14	<p><設問>活動プログラムの立案をチームで行っているか</p> <p><工夫している点> 個別療育について、児発管、療育スーパーバイザーと話し合いながら活動プログラムを立案している。集団クラスについてもチームで話し合い活動プログラムを組んでいる。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%

評価項目		はい	いいえ	
15	<設問>活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	
	<工夫している点>			
	セラピー実施後のFBを行い、参加児童に適した内容を考え実施している			
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
適切な支援の提供	16	<設問>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	92%	8%
		<工夫している点>		
		個別療育課題と、幼稚園保育園・家庭生活における課題を組み合わせる支援計画を作成している。		
		<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
	個別だけでなく集団が必要な子が個別のみなときもあるので、うまく組み合わせられるといいと思う 担当者間で共有の場がもっと欲しい			
	17	<設問>児童発達支援計画に基づき、支援を実施しているか	100%	0%
		<工夫している点>		
		児発管が、現在取り組んでいる療育内容を把握し、支援計画に基づいた支援を行っているか定期的に確認している。 モニタリングで得た情報を共有し支援に生かしている。		
		<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
	18	<設問>児童発達支援計画に記載した目標が達成できているか	100%	0%
		<工夫している点>		
		ターゲットをスモールステップに分解し、子どもに合ったゴール設定をすることで期間ごとに目標が達成できるように計画作成を行っています。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>				
スモールステップで発達を促せるよう、課題設定をし、目標を達成できている。ただし、さらに頻繁に児童発達支援計画を見直せるようなシステムがあった方が支援の方向性を絞り込みやすいと思われる。				
19	<設問>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	92%	8%	
	<工夫している点>			
	個別療育の場合は、担当セラピストとスーパーバイザーが話し合いをする。集団クラスのばあいは、職員間で話し合って支援の内容を決定している。			
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
担当職員全員で話し合いの時間を持つのが難しいため、文字情報での話し合いになることも多い。 (スキル等の要因から)対応できる職員が限られている場合がある。				

評価項目		はい	いいえ
20	<設問>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	92%	8%
	<工夫している点> 掃除や消毒業務の体制を変更し、30分の振り返りが行えるようにした。上手くいったこと、行かないことともに共有し、次のアイデアを出し合ったりしている。社内チャットを使うことで、当日いない職員にも情報がいきわたるように工夫をしています。 機会は設けられているが、形骸化しつつある。ただし、SVが入った際にはしっかりと振り返りが行われている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> 通園後にバスに乗る場合は、時間がなくて振り返りができない場合がある。		
21	<設問>日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%
	<工夫している点> 記録をとり保護者にも共有し、適切な支援に役立てている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
22	<設問>定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%
	<工夫している点> モニタリングで聞き取った内容を、その場にいなかった職員にも共有し、その後の課題を検討している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
23	<設問>障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%
	<工夫している点> 児童発達支援管理責任者と、可能な場合は担当セラピストが参加している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
24	<設問>母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%
	<工夫している点> 必要に応じて、保健所、健康サポートセンター等と連絡をとり情報共有をし支援に生かしている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		

評価項目		はい	いいえ	
関係機関や保護者との連携	25	<p><設問> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか</p> <p><工夫している点></p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>現状医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない</p>	100%	0%
	26	<p><設問> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか</p> <p><工夫している点></p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>現状医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない</p>	67%	33%
	27	<p><設問> 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p> <p><工夫している点></p> <p>利用開始時に全利用者の園に電話をし、情報共有をさせていただいている。その後も必要に応じて連携を取っている。また、ニーズがある方には、保育所等訪問支援を行い、包括的な支援を行っている。希望があれば、書面を作成し移行先へお渡ししています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	28	<p><設問> 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p> <p><工夫している点></p> <p>希望する利用者には、就学情報シートを作成し、療育の場で学習したことや、支援方法、アセスメントから明らかになった対象児の特徴などをまとめ、就学先の学校を訪問し、引継ぎを行っている。就学時には、各学校を訪問し状況の共有を図っています。就学に向け就学情報シートを作成し、就学先と共有している</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	29	<p><設問> 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p> <p><工夫している点></p> <p>併用事業所とは連絡を取り、支援の足並みをそろえるように努力を行っています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>機会はあるが、参加できていない</p>	91%	9%

評価項目		はい	いいえ
30	<設問> 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	55%	45%
	<工夫している点>		
	考えはあるが、感染症の流行があり、検討状態から抜け出せていない。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
31	<設問> (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	73%	27%
	<工夫している点>		
	要保護児童対策地域協議会への参加を行っております。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
32	<設問> 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	毎セラピーごとに、セラピー内で明らかになった課題や発達について保護者に説明している。毎回、自宅での様子も聞き取っている。 療育時間や、場合によっては対象児童にわからないように電話相談なども行っている		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
33	<設問> 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	利用者全員に1年間のペアレントトレーニングプログラムを受けていただいている。基本的には、センター卒業後も、保護者が子どもの療育を継続するスキルを獲得することを目標の一つと掲げている。 日々行っているが、特に療育開始時には研修を行っている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
34	<設問> 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	利用開始時に、個別に時間を設け、運営規程、利用者負担等について書面と口頭で説明している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		

保護者への

評価項目		はい	いいえ
説明責任等	<p>35 <設問>児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか</p> <p><工夫している点></p> <p>「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容についての説明は不十分な場合があるので、今後の改善すべき点である。</p>	100%	0%
	<p>36 <設問>定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> <p><工夫している点></p> <p>個別療育では、センターで行なう発達を促す課題だけでなく、家庭での困りごとにも応じ、家族、セラピスト、児発管とともに解決を図っている。 家庭によってはより支援が必要なパターンがある</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	<p>37 <設問>父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>平日毎日通園するクラスにおいては、保護者会を開催している。 毎日通園クラスにおいて、保護者会を開催し、日々の様子を見ていただいたり、職員と面談することでこまめな情報共有をできています。 父母の会はないが、先輩ママ講演なども行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>機会は時折設けられているが、頻度が少ない。</p>	73%	27%
	<p>38 <設問>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>窓口は担当セラピストが行い、内容によって、児発管、管理者（いずれもスーパーバイザー兼任）が対応するシステムになっている。 一対一ではなく、管理者などにも相談し対応している</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	<p>39 <設問>定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているかしているか</p> <p><工夫している点></p> <p>基本的には、全員が利用するインターネットのシステムを利用し、施設からのお知らせを発信している。インターネットを利用することが難しい家庭には、紙媒体や口頭で連絡をするようにしている。 社内システムのAI-PACを用いて、必要な情報等を通知しています。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	82%	18%

評価項目		はい	いいえ	
非常時等の対応	40	<p><設問>個人情報の取扱いに十分注意しているか</p> <p><工夫している点> 委員会を設置し、個人情報の取り扱いについての向上に努めている。小テストを行って知識を確認したり、実行できているかのチェックリストの実施、個人情報を保護するための環境整備を実施している。 個人情報の持ち運びには専用のバッグを用いている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	41	<p><設問>障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p> <p><工夫している点> 子どもからの要求を伝えるコミュニケーションを優先的に取り組み、特性にあった意思の疎通(サインやカード含む)や情報伝達のための配慮をしている。日本語が得意でない保護者も多数利用しているため、英語での対応や、紙に書いて理解を助ける配慮などを行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	42	<p><設問>事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか</p> <p><工夫している点> 地域の人向けの講習会を開催している。また、地域のお祭りなどのイベントに積極的に参加し、センターの活動の紹介や自閉症についての情報発信を行ってきた。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	92%	8%
	43	<p><設問>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか</p> <p><工夫している点> 委員会を設置し、マニュアルの整備と訓練を行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> マニュアルが未完成なものはあるが、職員への研修は実施している。 訓練については職員全体に情報の周知ができていない状況もあり、共有の徹底を図る。</p>	83%	17%
	44	<p><設問>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか</p> <p><工夫している点> 定期的に避難訓練と救急救命の訓練を行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> 訓練については職員全体に情報の周知ができていない状況もあり、共有の徹底を図る。</p>	92%	8%
45	<p><設問>事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか</p> <p><工夫している点> 療育契約時に安心シートを記入面談を行っている 利用開始前に全員に確認をとっている。</p>	100%	0%	

評価項目		はい	いいえ
	<p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> 確認自体は行っているが、職員の知識等の観点から十分とはいえない。</p>		
46	<p><設問>食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>	100%	0%
	<p><工夫している点> 全員、利用開始前に、家族からアレルギーについて情報共有を受けている。医師の指示に基づいた対応はしていませんが、アレルギーのある場合は保護者の方に別途詳しい情報を記述してもらい、事故がないよう心がけています。</p>		
	<p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>		
47	<p><設問>ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	91%	9%
	<p><工夫している点> 各療育室に用紙を置き記入するようにしている</p>		
	<p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> 現在記入しているものの回覧などの共有ができていないため、今後会議の場で周知を図っていきます。</p>		
48	<p><設問>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p>	100%	0%
	<p><工夫している点> 定期的に職員研修を行っている。また少しでも虐待が疑われるようなことが見られた際には、委員会や児発管に報告するシステムになっている。</p>		
	<p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>		
49	<p><設問>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>	100%	0%
	<p><工夫している点> 基本的には身体拘束を行わないことが前提であるため、児童発達支援計画に記載する機会はない。ただし、職員を噛むなどの行為のある子どもへの支援については、組織的に話し合いをしたうえで支援を決定している。支援方法については家族へ共有している。</p>		
	<p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>		